

NPO法人 町田楽友協会  
バリアフリーな音楽で  
社会を一つに



NPO法人町田楽友協会  
TEL 042-719-9522 <http://www.npo-machidagakuyuu.org/>

地域や世代を超えた全ての  
人々に対し、音楽活動を行うこ  
とで文化社会の向上に寄与する  
ことを目的とする町田楽友協  
会。NPO法人になったのは  
2002年だが、会の発足は  
1993年。まもなく四半世紀  
を迎える長い歴史がある。

元々、町田楽友協会は菅谷さん  
の妹の故・杉立美沙保さんが設立  
した。日本では殆ど普及していな  
かった点字楽譜の草分け的存在の  
杉立さんが、福祉と音楽の共生を  
目指して立ち上げたものだった。  
菅谷さんと姉の土井さんは音楽の  
専門家として手伝っていたが、その  
志を受け継いで今に至る。

**理** 専長の菅谷マシミさんは国  
立音大卒。幾つもの大学でゲ  
スト講師という肩書を持つ一方  
で、町田楽友協会を引っ張る存在  
だ。沢山のバリアが存在する現代  
社会で、それを外して心をついに  
音を奏でる。そこから生まれる響  
き、そして様々な素晴らしい活動  
を広げていきたいと精力的だ。

**中** 心的な活動は「バリアフリー  
オーケストラ」。月1回の練  
習のほか、夏の集中練習、ケアセン  
ターの慰問演奏やコンサートなど  
活動は幅広い。町田市役所で開  
催されるまちカフェでは楽器体  
験のワークショップやPRを行っ  
た。演奏会は会員だけでなく、土  
井さんが主宰するソノリティー音

**小** 学2年生の園分翼くんは5歳  
の時に音楽教室でバイオリン  
を習い始めたが、オーケストラでの  
演奏を誘われて町田楽友協会の会  
員になった。「色々な方と一緒に音  
楽を作り上げていく中で、優しい気持  
ちが育まれたり、成長できていると  
思う」というのはお母さんだ。サッ  
カー少年の久保田剛くんも同じ  
小学2年生だが、将来はサッカー  
選手ではなくバイオリニストにな  
りたいと胸すかしそうに語った。

**小** さな子どもから社会人まで  
障がいがある人もない人も、  
心をついに音楽を作り上げる。音  
楽をやってきた人もそうでない人  
もいるからこそ、逆に様々なドラマ  
があり、人が成長できる舞台や感  
動が溢れているという菅谷さん。  
「人前に出られないような子が元  
気になったり、声も出せないよう  
な子が声を出したり。そういう  
変化を見ていると音楽の力を感  
じます。周りの人たちはとても  
優しくなるし、人としての成長  
ができる貴重な場だと思うん  
です。資金的にはとても大変ですが、  
素晴らしい活動をこれまでずっと  
見て沢山の感動を味わってきたか  
ら、絶対続けていきたい。」

**演** 奏にも決して妥協はない。  
しかし、それ自体が目的では  
ないという。菅谷さんの目指す社  
会の実現はまだ険しい道のりだ  
が、彼らの奏でる音色は確実に美  
しい響きとなってゴールへ向かって  
いる。



▲ 理事長の菅谷マシミさん ▲ ソノリティー音楽教室の土井園分代さん ▲ 会員の園分翼くん ▲ 久保田剛くんとお母さん

The Machibito — Chuki ni Ikiru

● 会員だけでなく、近隣の小中学生や大人まで、様々なメンバーで構成されるオーケストラ ● まちカフェでは多くの方に楽器を体験してもらいながら活動をPRした